



水産第1980号

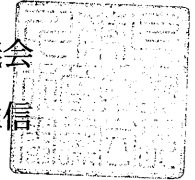
千水審第9号

令和3年2月22日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

千葉県水産振興審議会

会長 坂本 雅信



「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画」
における令和3年度実施計画に関する審議結果について（回答）

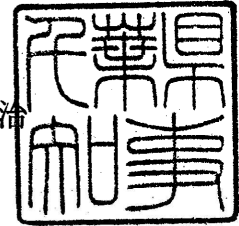
令和3年1月26日付け漁資第588号で協議のあったこのことについて、原案に異議
ありません。



漁資第588号
令和3年1月26日

千葉県水産振興審議会
会長 坂本 雅信 様

千葉県知事 鈴木 栄治



「水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する
基本計画」における令和3年度実施計画について（協議）

このことについて、別添（案）のとおり策定したいので、水産動物の種苗の
生産及び放流並びに水産動物の育成に関する基本計画 八により協議します。

水産動物の種苗の生産及び放流並びに水産動物の育成に関する
基本計画における令和3年度実施計画（案）

1 放流計画

対象魚種	2年度計画 (大きさ)	3年度計画 (大きさ)	放流海域	3年度目標放流量 (第7次基本計画)
まだい	1,000千尾 (60 mm)	1,000千尾 (60 mm)	全 県	1,000千尾 (60 mm)
ひらめ	940千尾 (80 mm)	940千尾 (80 mm)	全 県	940千尾 (80 mm)
まこがれい	460千尾 (40 mm)	460千尾 (40 mm)	東 京 湾	460千尾 (40 mm)
あわび	1,600千個 (25 mm)	1,600千個 (25 mm)	全 県	1,600千個 (25 mm)
くるまえび	6,000千尾 (30 mm)	6,000千尾 (30 mm)	東 京 湾	6,000千尾 (30 mm)

2 技術開発計画

ア 種 苗 生 産

対象魚種	実施機関	実施時期	取 り 組 む 課 題
ま だ い	水産総合研究センター	5～7月	・ 健苗の安定生産
ひ ら め		3～7月	・ 天然親魚の養成技術の確立 ・ 餌料及び育成環境による体色異常魚の出現防止
まこがれい		12～6月	・ 年内採卵に向けた天然親魚の成熟技術の開発 ・ 異形魚の出現防止
あ わ び	水産総合研究センター	周年	・ マダカアワビの種苗生産技術の円滑な移転
	公益財団法人千葉県水産振興公社	10～3月	・ 付着板飼育における安定的な育成方法の検討
くるまえび	公益財団法人千葉県水産振興公社	4～9月	・ 安定生産及び早期採卵に向けた種苗生産体制の確立
あ さ り	水産総合研究センター	4～3月	・ 天然採苗による種苗の大量確保技術の開発
は ま ぐ り		6～3月	・ 稚貝の飼育技術の開発 ・ 中間育成技術の開発
ば い		5～11月	・ 種苗生産技術の導入及び量産技術の開発

イ 放 流 調 査

対象魚種	調査内容	計 画 の 概 要
ま だ い	放 流 効 果	・ 市場調査及び放流効果の解析
ひ ら め	放 流 効 果	・ 市場調査及び放流効果の解析
まこがれい	放流技術開発	・ 尾鰭を指標とした混入率調査及び放流効果の解析 ・ 生態的知見に関する調査 ・ 標識放流（全長40mm、2万尾）による放流効果調査
あ わ び	放 流 効 果	・ 一般漁場及び造成漁場（放流漁場）における回収状況の把握
とらふぐ	放流技術開発	・ 放流魚の移動・分散の把握